

10. ロボットコンテスト

[平成元年度から5年度まで]

NHKが主催するロボットコンテストは第1回昭和63年度のテーマ「乾電池カースピードレース」を皮切りに平成16年現在のテーマ「マーズラッシュ」で第17回を迎えた。本校が初めて参加したのは第2回平成元年度のテーマ「オクトパスフットボール」であり、電気工学科（現：電気情報工学科）の柳原昌輝先生のご指導による。平成2年度は、機械工学科相場真也先生によるチームが参加した。平成2年度までは全国大会のみの開催であったが、第4回平成3年度からは全国62高専が参加するなど規模が拡大し、東北大会に機械工学科、電気工学科をそれぞれ中心とする2チームが参加し現在に至っている。この間、特筆すべきは、平成4年度の機械工学科木澤悟先生によるチームのロボット「モンモス・エスカル・ザウルス」が東北で準優勝し、全国大会への参加を果たしたことが挙げられる。

[平成6年度から10年度まで]

平成6年度には、ロボット「なげわっぱ」が東北大会でアイデア賞を、全国大会では技術賞を受賞した。機械工学科を中心とするチーム製作のロボットは大型化となる傾向にあり、電気工学科のそれはコンパクトで機動性に優れるなど各チームで個性が現れていたようである。その後、東北の他高専の技術レベルが上がり、全国への壁が徐々に厚くなってきた時期である。

[平成11年度から16年度まで]

平成12年度のテーマ「ミレニアムメッセージ」では、ロボット「機楽」が東北大会優勝という初めての快挙を成し遂げた。この年からは、ロボットコンテストの担当スタッフが機械工学科、電気工学科の枠を越え、専門4学科の教職員が全学的にあたるというスタイルとなった。また、平成13年度からは、遠隔操縦技術が必須となった。平成16年現在では、自立移動ロボットが主流となりつつあり、ロボットの知能化が進みテーマ課題も一層難しくなっている。本校出場のロボットは、平成13年から現在にいたるまで、東北大会1回戦敗退が続き、非常に残念な結果に終わっている。その中で、平成14年度のロボット「ぐらいふえん」の独創的なアイデアが審査員に評価され、アイデア賞を受賞したことは明るい話題であった。今後の奮起に期待したい。



平成12年度東北大会優勝ロボット「機楽」とロボコンメンバー、スタッフ

表14 ロボットコンテスト大会記録

大会年度	テーマ	ロボット名	戦績	選手	スタッフ
第1回 昭和63年度	乾電池カー スピードレース	参加せず			
第2回 平成元年度	オクトパス フットボール	ゆけゆけ平八君	全国大会ベスト8	鈴木 圭、松橋秀樹、安部厚志	柳原
第3回 平成2年度	ニュートロンスター	ガバチョ2号	全国予選敗退	池田 寛、梁田信義	相場、木澤、杉沢
第4回 平成3年度	ホットタワー	有美ちゃん アトリオン MK ₂	東北2回戦敗退 東北3位 全国1回戦敗退	池田 寛、梁田信義、有馬央恭 茂木 忍、片岡孝司、草彅輝幸	木澤、杉沢、柳原 足利
第5回 平成4年度	ミステリーサークル	モンモス・エスカ ル・ザウルス TRYもん	東北準優勝 全国1回戦敗退 東北2回戦敗退	有馬央恭、安田正樹、木村 洋 斉藤 敦、小野寺学、原田博紀	木澤、杉沢、大島 堅固山、斎藤

大会年度	テーマ	ロボット名	戦 績	選 手	スタッフ
第6回 平成5年度	ステップダンス	MEGA・BULU AMIKABE	東北2回戦敗退 優秀賞 東北1回戦敗退	虻川法仁、和泉 寛、ロスリ・ビン・モハマド、落合和己、明石徳人 クンシジョンロウチャルボン	木澤、杉沢、田野島 堅固山
第7回 平成6年度	スペースフライヤー	なげわっぱ ファイティング繁	東北1回戦敗退 アイデア賞 全国ベスト8 技術賞 東北1回戦敗退	伊藤勝吾、近藤正一、キエック・イエー・シェン：菊地繁実、大西零士、明石徳人	木澤、杉沢、山崎 堅固山
第8回 平成7年度	ドリームタワー	エンデバー IBCM	東北ベスト4 デザイン賞 全国2回戦敗退 東北1回戦敗退	伊藤勝吾、梁田洋志、キエック・イエー・シェン：鎌田慎也 中島理博、佐々木太一郎	木澤、杉沢、山崎 堅固山
第9回 平成8年度	テクノカーウボーイ	飯田街道1号 フライングバーム	東北1回戦敗退 東北2回戦敗退	阿部勝巳、細田哲矢、千葉幸作 鎌田慎也、佐々木太一郎、目黒純一	渡部、杉沢、山崎 伊藤、堅固山
第10回 平成9年度	花 開 蝶 来	BACKE (バック) セリオンZWEI	東北2回戦敗退 特別賞 東北1回戦敗退	小玉康広、中村 豪、合田奈央 佐々木太一郎、山本浩治、小野裕介	木澤、杉沢、伊藤 小山、堅固山
第11回 平成10年度	生 命 上 陸	飯田街道3号 人工生命体 ARL	東北2回戦敗退 特別賞 東北1回戦敗退	合田奈央、中村俊一、小林修一 山本浩治、小野裕介、島田大志	門脇、杉沢、小山 山崎、伊藤、堅固山
第12回 平成11年度	Jump to The Future	ヒックリカエル 武龍	東北ベスト4 東北ベスト4	合田奈央、中村俊一、橋本克則 山本浩治、佐藤 基、佐藤 賢	木澤、杉沢、山崎 伊藤、堅固山
第13回 平成12年度	ミレニアム メ ッ セ ー ジ	機楽 SHIFT	東北優勝 全国ベスト8 東北1回戦敗退	斉藤航司、石木田直俊、遠間大悟 小野寺数馬、佐々木亨、小林健一	藪、小林、石塚、杉沢、前野、小山 肴倉、堅固山
第14回 平成13年度	HAPPY BIRTHDAY 39	D・N・A・機楽 昇火機	東北1回戦敗退 東北1回戦敗退	仁村浩治、森 健志、佐々木巨記 佐沢政樹、小林健一、島田裕司	小林、西野、杉沢 松田、肴倉、伊藤 堅固山
第15回 平成14年度	プロジェクト BOX	キャッチャーG ぐらいふえん	東北1回戦敗退 特別賞 東北1回戦敗退 アイデア賞 特別賞	伊藤祐大、中村真介、齊藤僚介 益子修一、島田裕司、長谷川祐	小林、西野、杉沢 松田、山崎、伊藤 恒松、田中、堅固山
第16回 平成15年度	鼎 (KANAE)	T. T トランスポート	東北1回戦敗退 特別賞 東北1回戦敗退	鈴木博士、伊藤祐大、伊藤将来 島田裕司、山脇 健 ムハマド・レッザ	西野、小林、杉沢 松田、恒松、田中 堅固山
第17回 平成16年度	マーブラッシュ	救護魂V ANGARAG	東北1回戦敗退 東北1回戦敗退 特別賞	松橋壮耶、藤田昂志、伊藤将来 佐藤隆博、山脇 健、千釜大和	小林、西野、杉沢 松田、田中、日野 堅固山

(小林 義和・田中 将樹 記)

11. 全国高専プログラミングコンテスト

全国高専プログラミングコンテストは、高専の学生を対象に、そのプログラミングの技術を競う大会である。大会は課題、自由、競技の3部門に分かれており、事前に作成したプログラムの内容が審査の対象である。発想力やそれを実現するためのソフトウェアの開発能力が問われることになる。

秋田高専は、第2回大会(1990年)の自由部門に

初めて参加した。その後、3年間は参加しなかったが、第6回大会の競技部門に久しぶりに参加し、優勝を果たした。そのときのタイトルは「ZOOM」で、与えられた物体の形状をカメラで読み込み、画像データを処理し、求めた体積の精度を競うものであった。その後、第9、10大会の競技部門に参加するものの入賞を果たすことができなかった。2年ぶりに参加した第13回大会では、競技部門で準優勝を